



2026年6月15日

各 位

会社名 株式会社遠藤照明
代表者名 代表取締役社長 遠藤 邦彦
(コード番号 6932 東証スタンダード)
問合せ先 上席執行役員 管理本部長 後藤 修二
(TEL 06-6267-7095)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値を向上させることを目的として、2025年度の実効性に関する分析・評価を実施し、2026年6月15日開催の取締役会において、実効性評価結果の確認を行いました。つきましては、評価結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

社外役員を含む取締役及び監査役に対して、アンケートによる自己評価や意見聴取を実施し、全ての取締役及び監査役計9名（取締役5名、監査役4名）から回答を得ました。

これを集計した上で、2026年6月15日開催の取締役会において報告し、分析・評価を行いました。

アンケートにおける大項目は以下のとおりです。

- ① 取締役会の構成
- ② 取締役会の開催頻度・時間
- ③ 取締役会の資料・情報
- ④ 取締役会の運営全般
- ⑤ 議論の内容
- ⑥ 取締役会への参画（自己評価）
- ⑦ 社外役員／監査役
- ⑧ その他個別項目

2. 評価結果の概要

(1) 当社取締役会は、以下の評価より、その実効性は概ね確保されているものと判断いたしました。

- ・ 取締役会の構成人数（社外取締役と社内取締役のバランス）は適切であると評価されている。
- ・ 当事業年度における業績目標達成に向けた議論や、経営戦略の方向性に関する議論が適切になされている。
- ・ 中期経営計画の目標達成に向けた取組みや進捗報告、検証について、適宜報告がなされており一定の議論ができています。
- ・ 社外役員（監査役含む）と経営陣との意思疎通（取締役会以外の場で）が十分に図れている。
- ・ サステナビリティ経営推進のための議論の拡充が図られている。
- ・ リスク管理や内部統制システムの監督、関連当事者間取引の監視については、適切になされている。

(2) 一方、改善すべき余地があると評価され、2026年度に重点的に審議すべき課題は以下のとおりとなりました。

- ・取締役会の構成バランスにおいて、CFO（最高財務責任者）等の財務に関する専門性を有する人材や、海外展開・グローバル戦略・DX等の専門性強化による多様性と専門性の更なる確保。
- ・中長期的な経営方針や、開発・生産・販売等の事業戦略について、深くディスカッションするための十分な審議時間の確保。
- ・投資家・株主とのコミュニケーションについて、IR活動の拡充、投資家・株主の視点を踏まえたフィードバックの更なる充実。
- ・中長期的な後継者計画（サクセッションプラン）に基づいた早期立案と継続的な検証。
- ・DX戦略に関する議論の更なる拡充。

3. 今後の取組み

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、認識された経営課題について引き続き多角的に議論を深めるとともに、社内・社外役員間の緊密な対話を通じて、取締役会の実効性向上に向けた継続的な取組みを実施してまいります。

当社は、今後も取締役会の実効性評価を定期的に行い、コーポレートガバナンス体制のさらなる充実を図ることで、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を目指してまいります。

以上